



## 樹徳高等学校 と まちづくり討論会を開催

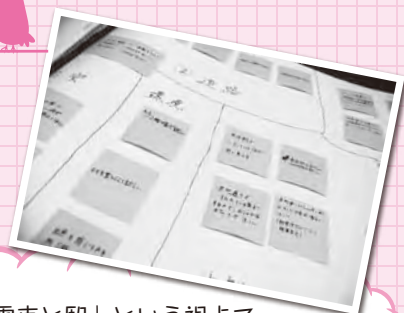


桐生市議会では、議会基本条例に基づき、積極的な市民協議の場を開設することを目的として、まちづくり討論会を実施しています。

今回は、樹徳高等学校の生徒と議員が、地域の現状や課題等について語り合う討論会として、令和元年11月11日（月）に樹徳高等学校の会議室で開催いたしました。



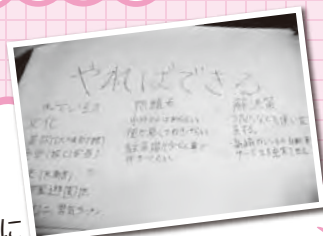
7つのグループに分かれ、討論会の前に「市議会のしくみ」と題して、議員による講義を行ったあと、「桐生市をもっと魅力的なまちにするために」をテーマに、議員がファシリテーターとなり活発な意見交換や討論を行いました。



班の中では、「電車と駅」という視点でその解決策を探り、「イベントと商業」という視点で具体的な事業展開を発表した班や、本市の伝統産業である織物に目を向け、承継問題について検討した班もありました。



参加した議員や生徒が桐生市のことについて協力して話し合っている姿は、大人も子供も関係ない、真剣な中でも、楽しい時間を醸し出していました。



桐生市の豊かな自然と伝統文化の魅力をより広域に発信するとともに、道路の整備状況や公共交通の充実、大型ショッピングモールの誘致など、暮らしやすいまちづくりへの意見や提案を、高校生ならではの視点で議員に投げかけていました。

グループ討議終了後には、生徒たちによるグループ発表を行いました。



今回の討論会においても、貴重なご意見やご要望をいただくことができましたので、今後のまちづくりに生かしていきたいと思っております。

参加いただいた樹徳高等学校の生徒の皆さま大変ありがとうございました。

